

鉄鋼業界 ～世界最大の鉄鋼大国、足元堅調も構造改革・通商問題がカギに～

◆市場動向 ～構造改革・景気回復などを追い風に市況改善が進む～

17年の業界規模（前年値修正済み）：

粗鋼生産量：8.3億トン（前年比6%増）、鋼材消費量：7.4億トン（同8%増）、輸出量：7543万トン（同31%減）、重点鉄鋼メーカー売上高：3.7兆元（同34%増）、税前利益：1773億元（同614%増）。

鉄鋼大国の中国は世界全体の生産・消費量の約5割を占める。一方で国内の供給過多という構造問題は変わらず、一部の企業はダブついた鋼材を低価格で輸出し、世界の鉄鋼安の一因になっていた。それでも政府のサプライサイド改革が徐々に成果を挙げ始めたほか、景気回復を支えに17年も国内の需給関係が改善。粗鋼生産量は前年比6%増、鋼材消費量は8%増に拡大し、鋼材輸出量は3割も減少した。鉱石輸入の拡大、金利上昇、生産コスト高などの逆風はあったが、鋼材価格の上昇を追い風に、重点メーカーは大幅な増収増益を達成した。

18年も国内市況は好調で、上期の粗鋼生産量は6%増加。鋼材価格も堅調で、企業業績の拡大傾向が続く。今後は過剰設備の削減を柱とする構造改革の遅延、米国の制裁関税による輸出環境悪化などが懸念材料。もっとも中国政府は国内のインフラ投資拡大の方針を掲げており、当面は堅調な市況が続こう。

◆業界の特徴 ～投資動向が変動要因、構造問題を抱え集約度は低い～

生産・販売面：

業界は鉄鉱石の採掘・生産、精錬・加工、貿易、プラント建設などに分けられ、多くの企業が乱立する。産業集約度は低く、粗鋼生産量に占める大手10社のシェアは4割にも満たない。主な生産地は河北、江蘇、山東、遼寧など。統計に表れない「地条鋼」（鉄スクラップを原料に零細業者が生産する低品質鋼材）の分も加わり、生産設備の「過剰、小規模、老朽化」という構造問題が大きな課題に。設備稼働率は低く、これが製品価格の下落圧力や環境汚染の主因となってきた。中国は東北部を中心に鉄鉱石資源に恵まれるが、低品位の鉱石が多く、海外から高品位の鉱石を輸入。鉄鉱石の価格交渉は電力、石炭などの価格動向とあわせ、製造原価に直結。販売面をみると最大用途は住宅・インフラ建設で、これに機械、自動車、造船などが続く。このため、固定資産投資、自動車販売などの動向から大きな影響を受ける。

国際面：

中国による鉄鉱石輸入、鋼材輸出の規模は巨大で、国際市場への影響は大きい。17年の鉄鉱石輸入量は世界全体の75%、鋼材輸出は16%を占めた。鉄鉱石の輸入依存度は高く、主要産出国は豪州、ブラジルなど。鋼材輸出は新興国が大半を占め、追加関税を課した米国への輸出比率はわずか。

政策面：

政府は構造問題の解決、環境汚染の抑制、国際的鉄鋼メーカーの育成などをめざし、サプライサイド改革を強化。新規プロジェクトを厳しく審査し、老朽設備の淘汰、企業間の再編を主導している。

◆主要企業、主な取扱銘柄 ～国有大手が中心、業績改善が進む～

鉄鋼大手は政府系企業が大半で、生産量は世界有数の規模。17年は業界再編によるシェア向上、鋼材価格の反発、国内需要の回復を受け、大手は好業績を記録。18年も業績拡大が続く。

上場企業でみると、上海市に本拠を置く宝山鋼鉄(600019)の業績が17.12期に大きく拡大。武漢鋼鉄との吸収合併を経て、親会社は生産量で業界首位の座にある。これを華北地区に地盤を置く河鋼(000709)をはじめ、東北地区で強い鞍鋼(00347)と本鋼板材(200761)、首都の北京首鋼(000959)、華中地区を地盤とする馬鞍山鋼鉄(00323)、湖南省最大手の華菱鋼鉄(000932)、広東省最大手の韶鋼

松山（000717）、広西チワン族自治区最大手の柳州鋼鉄（601003）、江西省の新余鋼鉄（600782）、内モンゴル自治区の包鋼鋼聯（600010）などの有力企業が追う。また、新興鑄管（000778）はダクタイル鉄管、太鋼不銹鋼（000825）はステンレス鋼で国内最大手のシェエアを持つ。いずれも鋼材価格の上昇により業績好調が続く。

一方、鉄鋼専業の民営大手も複数存在し、業界3位の生産能力を持つ沙鋼集団は傘下に特殊鋼メーカーの江蘇沙鋼（002075）を抱える。外資系の中国東方集団（00581）はビレット、帯鋼に強い。このほか、コングロマリット傘下の業界大手も存在し、中国中信（00267）は特殊鋼の生産と豪州での鉄鉱石開発の両方を展開。もっとも鉄鉱石開発事業は引き続き厳しく、豪州で巨額の損失を計上。民営では復星国際（00656）の系列化にある南京鋼鉄【売付のみ】（600282）、方大集団で鉄鋼事業を担当する方大スチール（600507）などが有名。また、周辺分野をみると、鉄鋼プラント建設は国有系の中国冶金科工（01618）が最大手。鋼材・鉄鉱石の流通・貿易は五礦発展【売付のみ】（600058）が業界をリードし、唐山港（601000）は主要な港湾機能を担う。

主な取扱銘柄：

コード	社名	分類	通貨	売上高増収率	純利益増益率	時価総額	コメント
00267	中国中信	ハンセン	香港ドル	450,536 +18.0	43,902 +1.8	317,084	金融から実業まで幅広く事業展開する中央政府系コングロマリット。鋼材生産、鉄鉱石採掘、流通なども主力の一角を占め、大冶特殊鋼（000708）を通じて自動車向けなどの特殊鋼を生産。豪州での鉄鉱石資源の開発は難航続きで、巨額の赤字を計上。再建策が課題となる。
00323	馬鞍山鋼鉄	H株	元	73,228 +51.7	4,129 +236.0	32,478	安徽省政府系の鉄鋼大手。主力製品は銑鉄、粗鋼、鋼材などで、高付加価値化に注力。国内トップクラスの規模を誇る高速鉄道用車輪を成長分野に据え、自動車、家電、造船向けなどを強化する。売上高の大半は国内で、安徽省を含む華東エリアで高い競争力を持つ。
00347	鞍鋼	H株	元	84,310 +45.7	5,605 +246.8	50,323	粗鋼生産量で世界7位（国内4位）の国有鉄鋼大手「鞍鋼集団」の中核企業。遼寧省に本拠を置き、香港上場メーカーで最大級の事業規模を誇る。近年は自動車、家電向けを中心に製品のハイエンド化を推進。国産原子炉「華龍1号」に採用されるなど、実績を積み重ねている。
00581	中国東方集団	香港その他	元	41,353 +56.5	4,839 +570.1	22,484	民営の鋼材メーカー。主力製品のビレット、帯鋼では大手の一角を占める。鉄鋼世界最大手のアルセロール・ミタルが筆頭株主。主力子会社は河北省の津西集団で、粗鋼生産量は世界33位。18.6期（中間）でも大幅増益を見込むが、18年7月に当局から1カ月の減産措置を受けたことが懸念材料。
01053	重慶鋼鉄	H株	元	13,237 +199.8	320 黒転	20,527	鉄鋼大手。「西部大開発」の中心都市「重慶市」で大きなシェアを持つ。主力の中厚板は国内有数の規模。ここ数年の業績悪化を受け、経営再建策を実施。市況改善も手伝い、17年に加えて18.6期（中間）も黒字転換の見通し。再編に向けて新設された重慶長寿鋼鉄が新たな筆頭株主になった。
01618	中国冶金科工	H株	元	244,000 +11.1	6,061 +12.8	76,982	国務院直轄の大型建設会社。住宅・ビル、プラント、交通インフラなどの建設を主力とし、鉄鋼・非鉄プラント分野で国内屈指の規模を誇る。資源開発、精錬、設備・鋼構造の生産、不動産開発なども展開。17年の新規受注高は過去最高を更新した。国務院系の中国五礦集団の傘下に入る見通し。
000709	河鋼	深センA株	元	108,983 +46.2	1,817 +16.8	32,939	河北省系の鉄鋼大手。省政府系の鉄鋼3社が'09年に再編・統合して設立され、粗鋼生産量は世界4位（国内2位）。鋼材の製品種類は幅広く、バナジウム鋼を含むハイエンド分野も強い。主力市場の華北エリアで進む業界再編と「雄安新区」構想が追い風になるも、減産・環境規制の強化が懸念材料。
000717	韶鋼松山	深センA株	元	26,038 +86.3	2,517 +2,381.1	21,052	国有鉄鋼最大手の宝武集団と広東省政府の支配下にある鉄鋼メーカー。同省の最大手であり、主力製品は鉄筋コンクリート用棒鋼。また、兄弟会社の宝山鋼鉄（600019）と幅広く提携する。広東省・香港・マカオの経済一体化と一大バイエリアの構築を目指す「粤港澳大湾区」の関連銘柄。
000778	新興鑄管	深センA株	元	41,266 +20.9	1,093 +148.3	21,204	国務院系の建設鋼材メーカー。主力製品のダクタイル鉄管は水道管などに使用され、国内1位のシェアを持つ。異形鉄筋なども生産。河北省に本拠を置き、「雄安新区」の関連銘柄の一つ。また、中国の水利インフラ建設の拡大も製品需要の増加に繋がる見通し。
000825	太鋼不銹鋼	深センA株	元	67,790 +19.3	4,622 +301.7	売停	山西省政府系の鉄鋼大手。中核製品のステンレス鋼は国内1位のシェアを誇る。一般鋼材も手がけ、近年は炭素鋼の分野にも注力。業界内では輸出比率が比較的高い。積極的に自社鉱山の開発を進め、原材料の安定調達に強み。進行中のニッケル合金メーカー買収が完了すれば、収益強化に繋がる。

コード	社名	分類	通貨	売上高 増収率	純利益 増益率	時価総額	コメント
000932	華菱鋼鉄	深セン A株	元	76,656 +53.5	4,121 黒転	33,471	湖南省政府系の鉄鋼大手。同省で圧倒的なシェアを持ち、親会社ベースの粗鋼生産量は世界15位（国内8位）に位置する。各種鋼材、鋼板、鉄管などを生産。主に原材料の鉄鉱石は輸入、コークスは国内で賄う。17年は生産量、利益などで過去最高を更新。親会社からの資産注入の可能性も。
000959	北京首鋼	深セン A株	元	60,250 +44.0	2,211 +451.3	24,437	北京政府系の総合鉄鋼大手「首鋼集団」の上場旗艦企業。主に自動車、家電、石油・ガスパイプ用などの各種鋼材を生産・販売。華北・華東の両地区を主力市場とし、輸出も手がける。兄弟会社に首鋼資源（00639）や首長国際（00697）、首長宝佳（00103）などがある。
002075	江蘇沙鋼	深セン A株	元	12,414 +63.7	705 +220.4	売停	世界6位の粗鋼生産量を誇る民営最大手「沙鋼集団」の傘下上場企業。本拠に置く江蘇省を中心とする華東エリアの売上比率が高い。主力製品は自動車、鉄道車両、船舶、ボイラーなどに使用される特殊鋼で、一部を海外に輸出する。「裏口上場」の方式で11年にA株上場を果たした。
200761	本鋼板材	深セン B株	元	40,508 +37.2	1,600 +104.8	17,400	遼寧省に本拠を置く地元政府系の鉄鋼メーカー。粗鋼、圧延鋼板、特殊鋼、ピレットなどを生産。韓国ポスコ社との合併会社を傘下に置き、ハイエンド分野の強化を目指す。同じ遼寧省の東北特殊鋼集団に資本参加。18年に増資で40億元を調達し、生産ラインの改良工事などに投じる。
600010	包鋼鋼聯	上海A 株	元	53,684 +73.0	2,061 +2,324.0	78,224	内モンゴル自治区政府傘下の鉄鋼大手。主に鋼管、鋼板、鋼線、鋼棒などを生産。同自治区を中心とする華北地方を主力とし、全国規模で展開。レアアース最大手の北方稀土（600111）を兄弟会社を持つ強みを活かし、研究開発などで協力して製品のハイエンド化を進める。
600019	宝山鋼鉄	上海A 株	元	289,498 +17.5	19,170 +111.2	197,672	粗鋼生産量で世界2位（国内1位）の鉄鋼最大手。国務院系企業で、77年に日中共同で上海市に設立された工場が前身。製品種類は豊富で、自動車向け鋼材などで国内首位に立つ。新日鐵住金と幅広く提携。武漢鋼鉄の吸収合併を経て、大幅な規模拡大に成功。業界のリーディング企業的存在。
600058	五礦発展 【売付のみ】	上海A 株	元	59,022 +44.9	35 +19.2	9,598	国務院直轄の金属貿易最大手「中国五礦集団」の中核企業。グループ内で鉄鋼分野を担当し、各種鋼材や鉄鉱石などの貿易・物流サービス、精錬事業などを手がける。親会社の再編を経て中国冶金科工（01618）が兄弟会社になる見込みで、その効果が注目される。
600507	方大スチール	上海A 株	元	13,945 +56.3	2,540 +281.4	17,862	民営コングロマリット「方大集団」の傘下にある鉄鋼メーカー。江西省に本拠を置き、主力製品はパネ平鋼材、異形棒鋼、自動車部品用鋼材、自動車部品など。パネ平鋼材と自動車部品用鋼材は国内有数のシェアを誇り、海外輸出も展開。コスト競争力にも強みを有する。
600782	新余鋼鉄	上海A 株	元	49,967 +64.0	3,111 +523.8	23,852	江西省政府系の鉄鋼大手。各種鋼板を中心に生産し、製品種類は豊富。主に機械、造船、発電プラントなどに使用される。江西省のほか、華東エリアなどで製品を販売。鉄鉱石はすべて外部から調達する。造船市場の回復が支えに、18.6期（中間）は大幅増益と好調だった。
601000	唐山港	上海A 株	元	7,612 +16.6	1,463 +11.3	15,840	河北省唐山市政府系の港湾会社。中国有数の工業都市の貿易港を担い、鉄鉱石、鋼材、石炭の取扱いで国内港湾の上位に入る。港湾と連結する貨物鉄道を経営し、内モンゴルの鉱物資源の貿易でも重要な役割を担う。河北省に建設予定の「雄安新区」の関連銘柄でもある。
601003	柳州鋼鉄	上海A 株	元	41,557 +55.9	2,646 +1,247.1	24,723	広西チワン族自治区政府傘下の鉄鋼大手。小型鋼材やピレットなどが主力製品。自治区内の鉄鋼生産量の5割強を担い、経済発展が進む華南・西南地区で大きなシェアを持つ点が強み。同自治区は東南アジアと近く、鉄鋼を含む製造業の成長余地は大きい。

※売上高・純利益などはすべてブルームバーグ提供の数値であり、当社HPと異なる場合がある。すべて17.12期、単位は百万。

※時価総額は18年8月24日の終値に基づきブルームバーグから算出、単位は百万HKドル。換算レートは1元=1.1HKドル、1米ドル=7.8HKドル。

◆注目されるトピックス ～改革徹底が重要に、国内の投資拡大が追い風～

増産圧力のなか、構造改革を徹底できるか：

過剰生産という構造問題の解決に向け、政府は15年末時点で約12億トンの粗鋼生産能力を、20年までに最大1.5億トン減らす計画。17年の削減幅は目標の5000万トンを超え、「地条鋼」でも1.4億トンを減らした。18年も設備削減を進め、目標の早期達成を目指す。こうしたなか、好調な鋼材市況を背景に企業の増産意欲は強く、18年7月の鉄鋼生産量は過去最高を記録。今後は景気対策で増産圧力が一段と強まる見通しで、サプライサイド改革の徹底は一段と困難になろう。一方で需給安定には改革徹底が不可欠といえ、政策当局の本気度が試される。

通商環境の悪化は長期的なリスク要因：

米国発の“貿易戦争”がリスク要因。すでに米国政府は輸入鉄鋼製品に25%の追加関税を発動し、中国も対象に含まれる。中国の鋼材輸出量は少なく、現時点で関税の悪影響は限定的だ。だが、鋼材は多くの工業製品に使われるだけに、その工業製品全体への制裁関税が広がれば、非建設用需要への悪影響は避けられない。中国の鉄鋼業は鋼材輸出・鉱石輸入などで世界のサプライチェーンに深く組み込まれており、安定した通商環境は重要。米中両国を含む関係各国の交渉による通商摩擦回避が期待される。

コスト増圧力は強まるも、建設用鋼材の需要見通しは良好：

今後も鉄鋼メーカーのコスト圧力が一段と強まる見通し。最大のコスト要因である鉄鉱石で再び価格高騰の可能性があるほか、足元では燃料、コークス、スクラップなどの価格が大きく上昇。人件費や汚染対策費、財務コストの増加圧力も続こう。このような環境下で利益率を高めるためには、製品のハイエンド化と政策動向を踏まえた販売戦略が重要となる。鉄鋼大手は製品構成の改善に注力し、PPP（官民パートナーシップ）の推進、北京の副都心「雄安新区」や一大ベイエリア「粤港澳大湾区」の建設などを通じた国内の新規需要を狙う。さらに「シルクロード経済ベルトと21世紀海上シルクロード」（一帯一路）構想に基づく海外需要を如何に獲得できるかも重要となろう。中国政府は今後、国内のインフラ投資を拡大する方針で、建設用需要の見通しは明るい。（中国部 畦田）

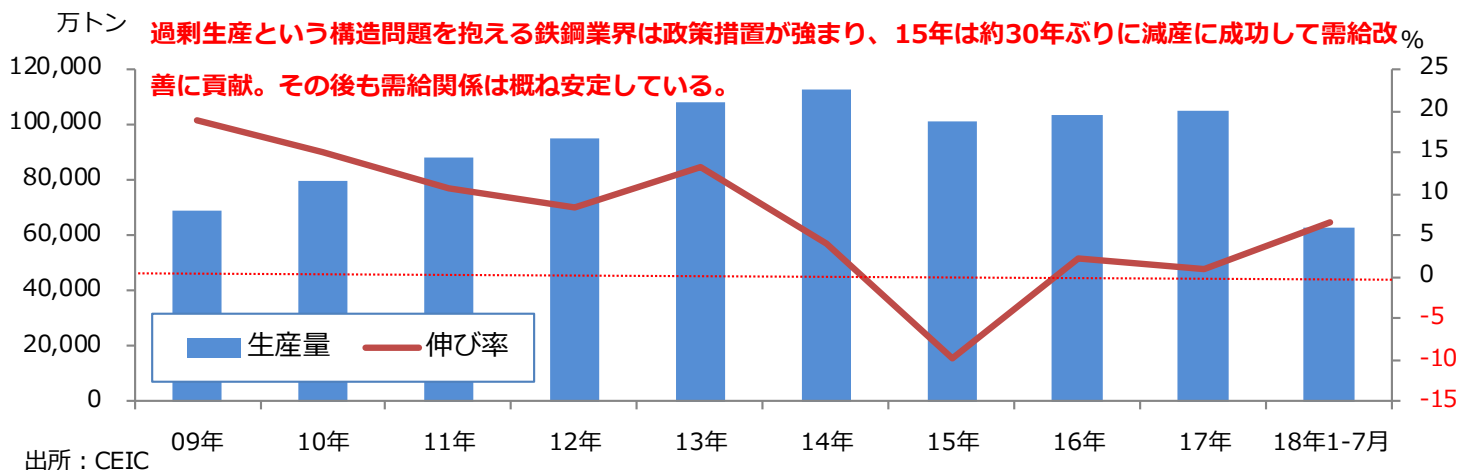
サプライサイド（供給側）改革

過剰生産の産業での「去産能」（生産能力の削減）が最重要目標。鉄鋼、石炭、セメント、ガラス、非鉄を含むエネルギー多消費型の産業が該当。旧式設備の淘汰・更新、生産抑制・停止、零細企業の手合への統合などを主な手段であり、官民挙げて16年頃から本格的に動き出した。

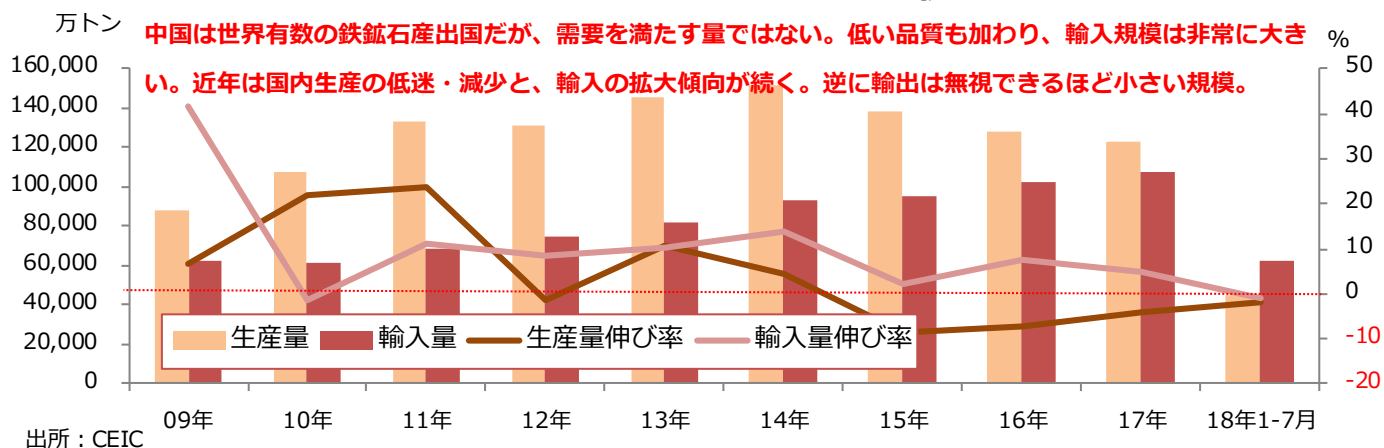
→メリット（過当競争の抑制、市場価格の回復、業界再編の進展、省エネ・環境保護等）→むしろ大手には追い風に

鉄鋼（17年目標：鉄鋼の年産能力を5000万トン削減等、18年目標：5カ年計画中の鉄鋼年産能力1.5億トン削減の早期達成）

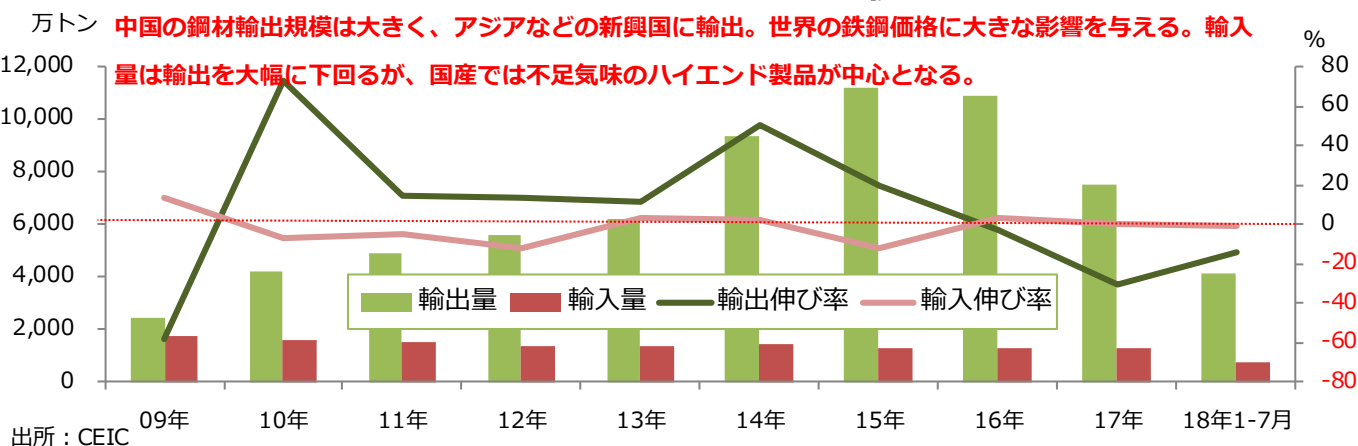
中国の鋼材生産量の推移（過年度は修正前の値）



中国の鉄鉱石の生産・輸入量の推移（過年度は修正前の値）

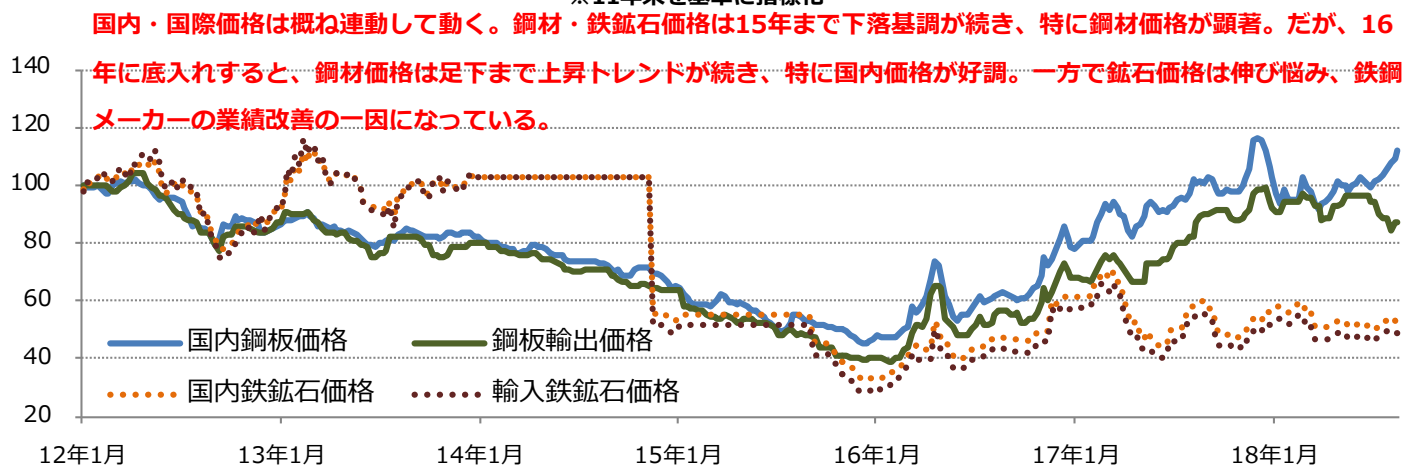


中国の鋼材輸出・輸入量の推移（過年度は修正前の値）

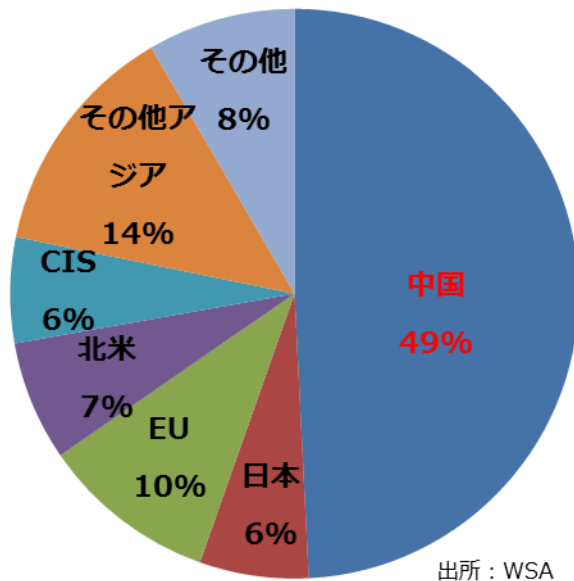


鋼板・鉄鉱石の国内・国際価格の推移

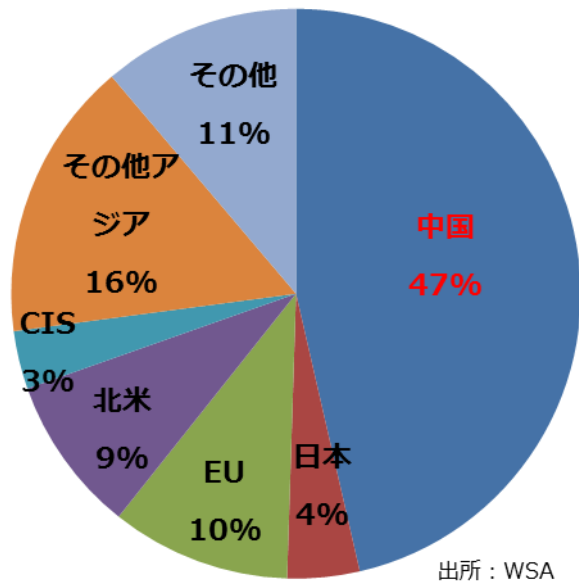
※11年末を基準に指標化



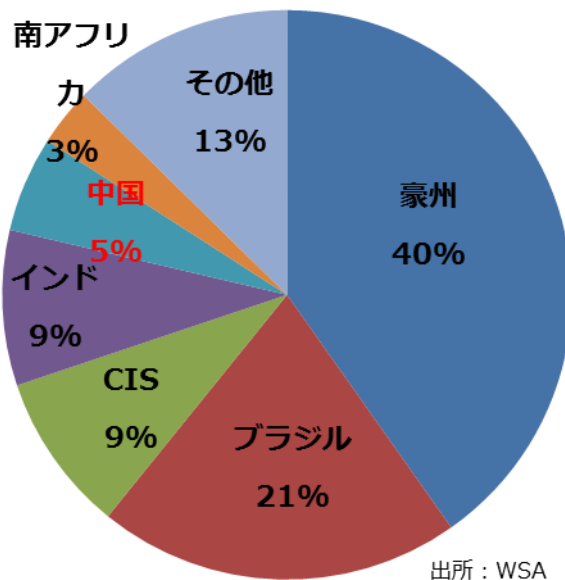
粗鋼生産量の国別シェア
(17年、世界全体16.89億トン)



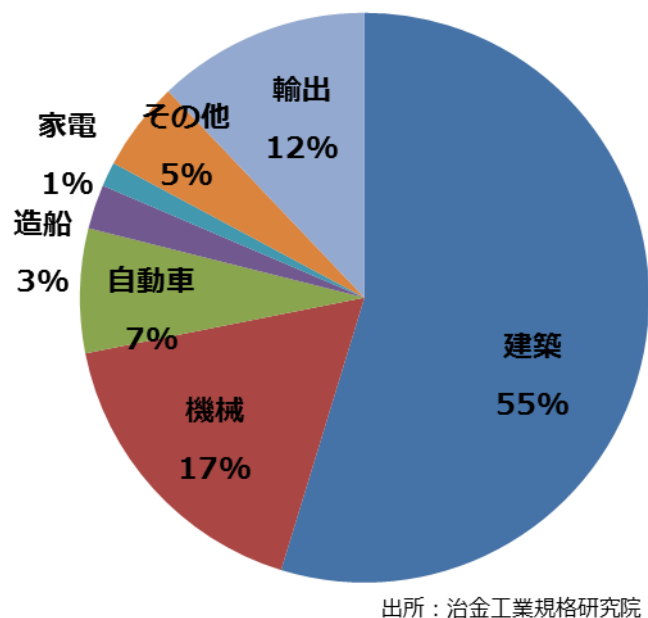
鋼材見掛消費量の国別シェア
(17年、世界全体15.87億トン)



鉄鉱石生産量の国別シェア
(16年、世界全体21億トン)



中国生産鋼材の主な用途 (15年)



世界の鉄鋼企業ランキング（17年、粗鋼生産量ベース）

順位	企業名	国名	年産量 (万トン)	増減率 (%)	中国企 業国内 シェア (%)	世界 シェア (%)	補足
1	アルセロール・ミタル	ルクセンブルク	9,703	1.7	-	5.7	鉄鋼の世界最大手、中国東方集団（00581）に資本参加
2	宝武集団	中国	6,539	2.5	7.9	3.9	業界のリーディング企業で宝山鋼鉄(600019)が主力子会社、武漢鋼鉄を吸収合併
3	新日鐵住金	日本	4,736	2.6	-	2.8	
4	河北鋼鉄集団	中国	4,556	-1.3	5.5	2.7	中国最大の鉄鋼グループ、主力子会社は河鋼(000709)
5	ポスコ	韓国	4,219	1.5	-	2.5	
6	沙鋼集団	中国	3,835	15.3	4.6	2.3	江蘇沙鋼（002075）の親会社、民営の鉄鋼最大手
7	鞍鋼集団	中国	3,576	7.7	4.3	2.1	遼寧省を本拠とする鉄鋼大手、鞍鋼（00347）の親会社
8	JFEホールディングス	日本	3,015	-0.5	-	1.8	
9	首鋼総公司	中国	2,763	3.1	3.3	1.6	北京の鉄鋼大手、北京首鋼(000959)、首鋼資源（00639）、首長国際（00697）などを傘下に置く
10	タタ・スチール	インド	2,511	2.5	-	1.5	
11	ニューコア	米国	2,439	11.1	-	1.4	
12	山東鋼鉄集団	中国	2,168	-5.8	2.6	1.3	山東省内の鋼材メーカーが統合されて設立
13	現代製鉄	韓国	2,123	5.7	-	1.3	
14	建龍集団	中国	2,026	23.2	2.4	1.2	北京市に本拠を置く民営コングロマリット
15	華菱集団	中国	2,015	30.2	2.4	1.2	華菱鋼鉄（000932）の親会社
16	馬鋼集団	中国	1,971	5.8	2.4	1.2	馬鞍山鋼鉄（00323）の親会社
17	ノヴォリペツク	ロシア	1,708	2.6	-	1.0	
18	ゲルダウ	ブラジル	1,650	3.4	-	1.0	
19	JSWスチール	インド	1,606	7.7	-	1.0	
20	本鋼集団	中国	1,577	9.5	1.9	0.9	本鋼板材（200761）の親会社
中国全体			83,170	3.0	-	49.2	世界の粗鋼生産量は16年に回復すると、17年は約4%増と比較的高い伸びに。中国も3%増で、引き続き世界全体の5割近いシェアを握る。
世界全体			168,940	3.8	-	-	

出所：WSA

当社の概要

商号等 内藤証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号
 本店所在地 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1丁目5番9号 主な事業 金融商品取引業
 資本金 30億248万円(平成30年3月末現在) 設立年月 昭和18年4月
 加入協会 日本証券業協会 (一社)第二種金融商品取引業協会
 指定紛争解決機関 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター
 連絡先 ご質問がございましたら、下記部支店までご連絡ください。

リスク等重要事項のご説明

リスクについて

〈株式〉株価および為替相場(特に外国株式の場合)の変動等により損失が生じるおそれがあります。
 〈債券〉債券は市場金利の動向や発行者の信用状況等によって価格が変動するため、損失を生じるおそれがあります。さらに外国債券は為替相場の変動などにより損失が生じる場合もあります。
 〈投資信託〉組み入れた株式や債券など、有価証券の価格変動および為替相場の動向(特に外国通貨建て有価証券等を投資対象としている場合)等により投資元本を割り込むおそれがあります。
 〈株価指数先物・同オプション〉対象とする株価指数の動きにより損失が生じるおそれがあります。加えて、建て玉代金に比べ少額の委託証拠金での取引が可能であり、株価指数の変動によっては損失額が委託証拠金を上回る(元本超過損)おそれがあります(オプション買入の場合は買付代金とコストの合計額に限定されます)。

手数料について

〈株式〉①対面取引の場合、i) 国内株式は約定代金に対して最大1.15%(税抜き以下同じ、但し最低2,500円)。ii) 現地委託取引による外国株式は売買金額に対し最大0.80%(但し買付け時のみ最低500円)の国内手数料をいただきます。加えて、現地手数料として米国株式で外貨約定代金の最大0.50%、香港株式で同0.25%(最低50香港ドル)、上海・深セン株式で同0.50%必要となるほか、各証券市場によってSEC Fee、印紙税や取引所税等の費用が掛かる場合があります。また、為替に関しては内藤証券が決定したレートを用います。iii) 国内店頭(相対)取引による外国株式は当社提示の取引価格の中に手数料等(諸費用を含む)をあらかじめ加味しております。また為替は上記同様、当社が替レートを適用します。②コールセンター取引の場合、i) 国内株式は約定代金に応じて最大31,000円(最低2,500円)。ただ、月間取引回数等による割引あり。ii) 外国株式は対面取引と同様です。③インターネット取引の場合、i) 国内株式は手数料プランが複数に分かれており、この欄に表示するのが難しいため、詳細は当社HP(<http://www.naito-sec.co.jp/>)にてご確認ください。ii) 現地委託取引による外国株式は売買金額に対して最大0.40%(但し買付け時のみ最低500円)の国内手数料をいただきます。また現地手数料並びに為替レート等は対面取引と同様です。なお、インターネット取引では米国株式及び国内店頭取引による外国株式の取り扱いを行っていません。
 〈債券〉国内債券については売買委託手数料表をご確認ください。また、相対取引による外貨建て債券の売買に関しては当社が提示する価格の中に手数料等(諸費用を含む)をあらかじめ加味しております。円貨と外貨を交換する際には、外為市場等の動向をふまえて当社が決定した為替レートを適用します。
 〈投資信託〉商品により異なりますので、詳細は「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
 〈株価指数先物・同オプション〉i) 株価指数先物は約定代金に対して最大0.08%。ii) 株価指数オプションは約定代金の最大4.0%(但し最低2,500円)。

◆本資料は、公表されたデータ等信頼できると考えられる情報に基づいて内藤証券が作成し、また記載された見解等の内容は全て作成時点のもので時間の経過とともに不正確となる場合があります。過去から将来にわたって、その正確性・完全性を保証するものではありません。内容は今後予告なく変更することがあります。◆本資料に基づいた投資によって発生する損益は全てお客様に帰属します。内藤証券は、故意または重過失がない限り、責任を負いません。◆本資料により提供される情報の著作権等の知的財産権は、引用部分を除き、全て内藤証券に帰属します。お客様は、事前に内藤証券の書面による同意なく、本資料の内容及び情報を、複製、譲渡、修正、変更または転送等の行為をすることができません。

本 社 大阪市中央区高麗橋1-5-9 ☎06-6229-6511

東 日 本 地 区

東京第一営業部	☎03-3666-5541	金 沢 文 庫 支 店	☎045-780-5021
湘南サテライト	☎0466-55-3161	足 利 支 店	☎0284-22-1234
東京第二営業部	☎03-3666-7137	伊 勢 崎 支 店	☎0270-25-3780
神 田 支 店	☎03-6361-9191	伊勢崎駅前サテライト	☎0270-25-3780
三 鷹 支 店	☎0422-71-1251	焼 津 支 店	☎054-621-1311

西 日 本 地 区

本 店 営 業 部	☎06-6229-6904	和 歌 山 支 店	☎073-423-6211
住 道 支 店	☎072-889-5236	有 田 支 店	☎0737-52-7110
寝 屋 川 支 店	☎072-822-6333	田 辺 支 店	☎0739-22-4678
金 剛 支 店	☎072-365-1901	新 宮 支 店	☎0735-22-8151
橿 原 支 店	☎0744-28-4711	高 松 支 店	☎087-822-0105

インターネット

☎0120-7110-76
succes-s@naito-sec.co.jp

コールセンター

☎0120-20-9680

